

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 千歳市立 緑小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 066-0074

北海道千歳市緑町4丁目4-1

E-mail es-midori.d@ed.city.chitose.hokkaido.jp

Website _____

児童生徒数 男子 218名 女子 220名 合計 438名

児童・生徒の年齢 6歳 ~ 12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校のユネスコスクールとしての活動は、4領域「環境教育」「多文化理解」「人権・命の教育」「ボランティア教育」により構成されています。

それぞれの活動は以下の通りです。

①環境教育

- ・リサイクル活動 (エコキャップ、プルタブ、牛乳パック回収)
- ・自然体験活動 1・2年 「サケの稚魚飼育・放流」
「サケの人工授精」
3年 「青葉公園の植物」
4年 「千歳川研究」
- ・省エネの取組 節電、節水 (児童会環境委員会)
- ・栽培活動

②多文化理解

- ・アイヌ文化学習（今年度実施したもの）
 - 1年 昔話 2年 アイヌ文様
 - 3年 遊び 4年 衣食住の調べ学習
 - 5年 マレク漁・チェプオハウ作り
 - 6年 自然と共存する文化の調べ学習
- ・アイヌ文化掲示コーナーの設置

③人権・命の教育

- ・人権教室 2・4・6年
- ・カヌー体験学習 3・4・5・6年
- ・平和学習 全学年
- ・食育 //
- ・性教育 //
- ・いじめ撲滅集会 //

④ボランティア教育

- ・世界寺子屋運動 書き損じ葉書の収集
- ・地域清掃活動 全学年による地域のゴミ拾い
- ・異学年交流 上学年が企画した下学年との交流

⑤平成29年度からの活動

- ・多文化理解の内容更なる組み換え（活動のスリム化）
- ・節電の呼びかけ（児童会に環境委員会ができたことによる）



リサイクル活動



マレク漁（かわはぎ）



カヌー体験教室（安全学習）



地域清掃活動

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間に位置づけ、各学年の系統性を見据えながら、指導を展開している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

児童会活動など、他学年が交流できる時間と場を設定し、組織的に活動ができるよう体制を整えている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

活動の資質向上に努めたいが、学習指導要領改訂に伴う外国語活動や道徳指導の充実のため、学習時間の増加が不可欠になり、様々な活動を精選しなければならないこと。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

地域・保護者に対する活動の啓発を行ってきたが、ESDの推進拠点としての成果は十分ではなかったと反省している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

千歳科学技術大学による交流は行ってきたが、ユネスコスクールとしての位置づけは不十分であった。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

実施には至っていない。

- ⑧ ユネスコス쿨の活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

様々な活動を継続することで、自己有用感が少しずつ向上し、次の活動の意欲につながっている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

前述した「3. 活動内容」と同様である。